

第9回 UILI-ILP 国際技能試験の募集・実施要領

2015年3月27日最終版
一般社団法人日本環境測定分析協会
UILI-ILP 委員会事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会は、2001年より国際民間分析試験所連合(UILI¹)の Board Member として活動しています。

このたび、第9回 UILI 国際技能試験(UILI-ILP²)を実施することになりましたので、参加試験所を募集いたします。UILI-ILP は、国際的な試験所間比較試験として、2006年より実施しており、現在までに、日本、アメリカ、オランダ、カナダ、スペイン、ポルトガル、ベルギー、メキシコ、中国及び韓国の民間試験所が参加しています。

第9回 UILI-ILP 国際技能試験では、下記を特徴としています。

1. 試料の形態は、夾雑物をほとんど含まない液体であること。
2. 試験対象項目を世界各国で興味を持たれている金属元素 11 成分としたこと。
3. 値段をできるだけ安価にしたこと。

できるだけ多くの試験所が第9回 UILI-ILP 国際技能試験に応募していただきますよう、よろしくお願いいたします。

—参加要領・実施要領—

1. 試験名 純水中の金属元素分析

※結果の報告は、試験対象項目の中で貴試験所が報告可能な項目のみで結構です。

2. スケジュール (予定) 申込受付 平成 27 年 2 月 16 日(月)~3 月 13 日(金)
試料配付 平成 27 年 3 月 30 又は 31 日(月、火)
※期日指定とします

報告期限 平成 27 年 5 月 22 日(金)
上記報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

報告書発行 平成 27 年 9 月頃

※試料配付及び報告期限については、試料調製、輸送事情等により変更する場合があります。変更時には、速やかにご連絡いたします。

3. 申込方法

従来の技能試験で使用している「ID、パスワード」を使ってインターネットから申込、報告ができます。インターネットで申込、報告ができない場合は、代理入力依頼用紙を使用して FAX で申込んでください。詳細については、(一社)日本環境測定分析協会のホームページ(<http://www.jemca.or.jp/>)の「国際技能試験」をご覧ください。
お問合せ等ありましたら、下記までご連絡ください。

(一社)日本環境測定分析協会 UILI-ILP 国際技能試験委員会事務局
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル
TEL 03-3878-2811 FAX 03-3878-2639

4. 参加費用の払込

(ア) 参加費用は 以下の通りです。

日環協正会員 19,000円
日環協正会員以外 29,000円

(イ) 試料同梱の請求書(兼払込取扱票)を用い、(一社)日本環境測定分析協会へ参加費用の振込みをお願いいたします。

(ウ) 参加費用には、試料費、報告書及び参加認定証並びに輸送費などの全費用が含まれます。

¹ UILI: Union Internationale des Laboratoires Indépendants

² ILP: Inter Laboratory Practice

5. 試料

(ア) 次の 2 試料です。

(1) 試料 1 UILI-ILP-9-2015 pure water-1

(2) 試料 2 UILI-ILP-9-2015 pure water-2

(イ) 日本の参加試験所へは、(一社) 日本環境測定分析協会から配付します。

(ウ) 試料 1 及び試料 2 は、それぞれ 100 mL プラスチック製容器に充填してあります。

6. 試験対象項目

(ア) 試験対象項目は、以下の金属元素(11 項目)です。

アルミニウム (Al)	ほう素 (B)	カドミウム (Cd)
カルシウム (Ca)	全クロム (T-Cr)	銅 (Cu)
鉛 (Pb)	マグネシウム (Mg)	タリウム (Tl)
ナトリウム (Na)	カリウム (K)	

(イ) 2 試料中の各試験対象項目の予想される濃度範囲は、次の通りです。

試験対象項目	濃度範囲 (単位 : µg/L)	
	試料 1	試料 2
	UILI-ILP-9-2015 pure water-1	UILI-ILP-9-2015 pure water-2
アルミニウム (Al)	50 ~ 1000	50 ~ 1000
ほう素 (B)	500 ~ 5000	500 ~ 5000
カドミウム (Cd)	1 ~ 30	1 ~ 30
カルシウム (Ca)	50 ~ 1000	50 ~ 1000
全クロム (T-Cr)	10 ~ 300	10 ~ 300
銅 (Cu)	10 ~ 300	10 ~ 300
鉛 (Pb)	10 ~ 300	10 ~ 300
マグネシウム (Mg)	50 ~ 1000	50 ~ 1000
タリウム (Tl)	10 ~ 300	10 ~ 300
ナトリウム (Na)	50 ~ 1000	50 ~ 1000
カリウム (K)	50 ~ 1000	50 ~ 1000

(ウ) 送付試料は、認証値等を持っていません。

7. 試料の前処理方法及び測定方法

前処理方法、測定方法は指定いたしません(貴試験所に一任いたします)が、添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。

8. 試験結果等の報告

(ア) 各試料について前処理(試料の秤り取り)から独立した測定を 2 度行い、2 つの結果の平均値を報告してください。1 回しか測定できなかった場合は、その測定値で構いません。

(イ) 試料 1、試料 2 とともに必要に応じて前処理を実施してください。

(ウ) 報告値は有効数字 3 桁で、試料 1 及び試料 2 について報告してください。

(エ) 結果の報告については、試験対象項目 11 元素の中で、貴試験所で報告可能な項目のみで結構です。

(オ) 結果報告書の記入要領について

(1) 前処理方法(Pre-treatment Method)及び測定方法(Measurement by Instrument)については添付資料-1 の(A)及び(B)の『No.』欄の数字を記入してください。組み合わせで採用した場

- 合は複数の『No.』欄の数字を記入してください。
- (2)前処理方法について、“その他”を選択される場合は具体的な方法名を備考欄に記入してください。
 - (3)試験結果については、『試料 1』及び『試料 2』の欄に単位： $\mu\text{g/L}$ で記入してください。
 - (4)報告用紙については、所定の第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験結果報告書用紙を使用してください。修正時も同様とします。
- 所定の報告書用紙を使用しない報告は受け付けません。
- (カ)結果報告期限は、平成 27 年 5 月 22 日(金)を予定しています。
- ※ 上記結果報告期限は、日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

9.試験結果報告のとりまとめ(報告書)

- (ア)技能試験結果のとりまとめ(正式版)の発行は平成 27 年 9 月頃となる予定です。
- (イ)報告書は、電子媒体及び印刷物で参加試験所に配付される予定です。
- (ウ)報告書には、四分位数法(APLAC T002)を用いた z-score (ISO/IEC 17043)及び Confidence Ellipse for Youden Plot (ISO/FDIS 13528) が含まれる予定です。
- (エ)測定方法を統一した試験ではありませんので、報告書に記載される各種統計量は参考としてご使用ください。例えば、中央値が「特定の値」に近似しているとは限りません。
- (オ)報告書には報告試験所名が記載されます。各試験所の報告値は試験所番号で識別されます。試験所名と試験所番号の関連付けは記載されません。

10.その他

- (ア)本試験自体あるいは本試験の試験結果のとりまとめ(報告書)は、参加試験所あるいは関係する個人の能力や優劣を主催者や第 3 者が判定するものではありません。
- (イ)試験結果を報告された試験所には UIIL から参加認定証が発行されます。

以上

UIII-ILP 国際技能試験委員会

UIII 役職	代表役員	国	協会名
会 長	Dr. Manahén Fernandez-Alonso	スペイン	Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)
前 会 長	Dr. Hideo Tabata	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
副 会 長	Mr. Gib G McIntee	カナダ	Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)
財務担当	Dr. Toru Matsumura	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
事務局長	Drs. Luc H A Scholtis	オランダ	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)
代 表	Dr. Alvaro Silva Ribeiro	ポルトガル	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)
代表代理	Mr. Jorge Oliver-Rodés	スペイン	Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)
代表代理	Mr. Masahiro Tanaka	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)

日本事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会 UIII-ILP 委員会

委員長 松村 徹

副委員長 村上 雅志

事務局 笹尾 照夫

添付資料-1

(A) 前処理方法(Pre-treatment Method)

No.	前処理方法	方法(Method)	略号
1	液-液抽出	Liquid-liquid extraction	LLE
2	固相抽出	Solid phase extraction	SPE
3	共沈	Co-precipitation	CP
4	希釈	Only dilution	Dil
5	酸分解	Acid decomposition	AD
6	その他	Others	Others

(B) 測定方法(Measurement by Instrument)

No.	測定機器	機器(Instrument)	略号
1	原子吸光分析(フレイム法)	Atomic absorption spectrophotometry (flame)	AAS
2	原子吸光分析(ファーネス法)	Atomic absorption spectrophotometry (furnace)	ETAAS
3	水素化物発生-原子吸光分析	Hydride-generation atomic absorption spectrophotometry	HG-AAS
4	冷原子吸光分析	Cold vapor atomic absorption spectrophotometry	CVAAS
5	誘導結合プラズマ発光分光分析	ICP-AES	ICP-AES
6	水素化物発生-誘導結合プラズマ発光分光分析	Hydride-generation ICP-AES	HG-ICP-AES
7	誘導結合プラズマ質量分析	ICP-MS	ICP-MS
8	イオンクロマトグラフ	Ion-chromatography	IC
9	イオン電極法	Ion-selective electrode	IE
10	ポーラログラフィー	Polarography	Pol
11	溶出ボルタンメトリー(陽極/陰極/吸着)	Stripping voltammetry (anodic/cathodic/adsorptive)	SVE
12	中性子放射化分析	Neutron activation analysis	NAA
13	比色分析	Colorimetry (absorptiometry)	Col
14	蛍光分析	Spectrofluorometry(Fluorescence analysis)	FPA
15	その他	Others	Others

第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験参加申込書「代理入力依頼」

純水中の金属元素分析

事務局記入欄	
--------	--

試験所情報

技能試験 ID		P
		※ID を紛失した場合は事務局までお問い合わせください。
社 名		
社名カナ		
試験所名 (支社名)		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
技能試験 実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
試料送り先	※試料の送り先が住所と異なる場合は記入してください。	
	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
	宛名	

申込内容

試料申込数	1	組 ※1 試験所につき 1 組のみを原則とする
-------	---	-------------------------

第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験結果報告書「代理入力依頼」 (1/2)

「純水中の金属元素分析」

事務局記入欄	
--------	--

技能試験 ID		P
		※ID を紛失した場合は事務局までお問い合わせください。
社 名		
社名カナ		
試験所名 (支社名)		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
技能試験 実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	

- ・ 報告期限 : 平成 27 年 5 月 22 日 (金)
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ・ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。
- ・ 試料 1、資料 2 とともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目ごとに)番号で記入してください。
- ・ 前処理方法において、“その他” を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ・ 報告様式については、所定の第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験結果報告書用紙を使用してください。修正時も同様とします。

第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験結果報告書「代理入力依頼」 (2/2)

社名および試験所名	
-----------	--

試験対象項目	前処理方法 No				測定方法 No		試験結果(単位：μg/L)	
	試料 1		試料 2		試料 1	試料 2	試料 1	試料 2
	No	備考	No	備考				
アルミニウム (Al)								
ほう素 (B)								
カドミウム (Cd)								
カルシウム (Ca)								
全クロム (T-Cr)								
銅 (Cu)								
鉛 (Pb)								
マグネシウム (Mg)								
タリウム (Tl)								
ナトリウム (Na)								
カリウム (K)								

- ※ 報告期限：平成 27 年 5 月 22 日（金）
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ※ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。
- ※ 試料 1、試料 2 とともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。
- ※ 前処理方法において、“その他”を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ※ 報告には、第 9 回 UIIL-ILP 国際技能試験結果報告書用紙（本用紙）を使用してください。修正時も同様とします。